

羽田から未来へはばたく おおたSDGs 未来都市

大田区はSDGsの達成に向けて優れた取組を提案する都市として、
内閣府から2023年度の「SDGs未来都市」に選定されるとともに、
その中でも特に優れた先導的な取組を行う「自治体SDGsモデル事業」にも選定されました。



SDGs (Sustainable Development Goals) とは、2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までに達成すべき「持続可能な開発目標」のことです。17の目標と、それぞれの目標を達成するための169のターゲットが設けられています。その原則は、「誰一人取り残さない (Leave No One Behind)」ことです。地理的な制約、年齢、性別、障がいの有無等にかかわらず、貧困や飢餓、暴力をなくし、地球環境を壊さずに経済を持続可能な形で発展させ、人権が守られている世界の実現を目指しています。



大田区のまちの特徴は？

ものづくりとイノベーションが共存する、東京の縮図

面積は61.86㎢と、東京23区でもっとも広く、人口は約73万人で3番目。

東京の縮図のような環境に、“ものづくり”と“イノベーション”が共存しているのが大田区です。

持続可能なまちづくりのためには、地域の魅力を活かすことが欠かせません。

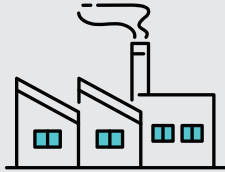
大田区の3つの特徴

特徴1. 多様性と魅力あふれる“東京の縮図”

羽田空港



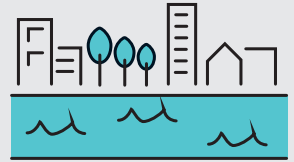
町工場が集積



賑わいあふれる商店街

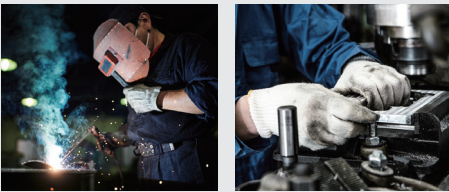


多摩川など豊かな自然

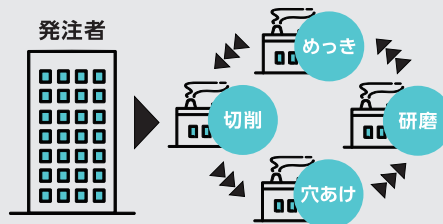


特徴2. 匠の技術が集う“ものづくり”のまち

工場数、従業員数、
製造品出荷額23区中1位



地域内分業体制“仲間まわし”で、
短納期・高精度のものづくりを実現

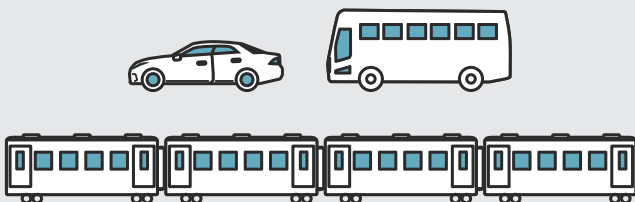


産業支援拠点施設
「大田区産業プラザ
(愛称:PiO)」



特徴3. “イノベーション” が生まれる交通結節点

多数の鉄道・幹線道路



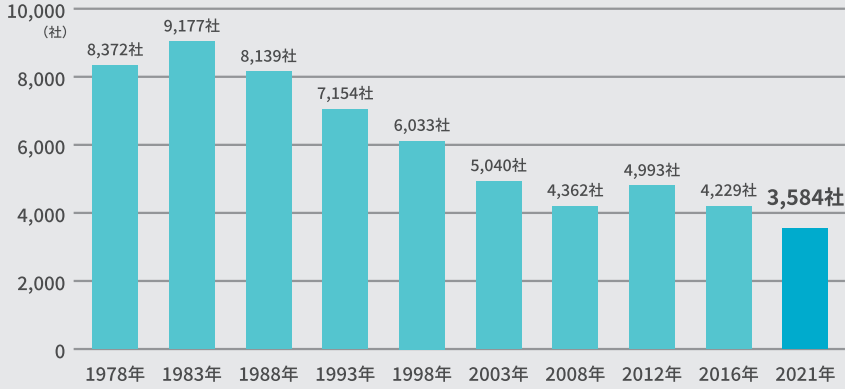
新産業創造・発信拠点
「羽田イノベーションシティ」



大田区の課題は？

1. 産業の持続可能な成長への支援

●製造業の事業所数の推移(大田区)



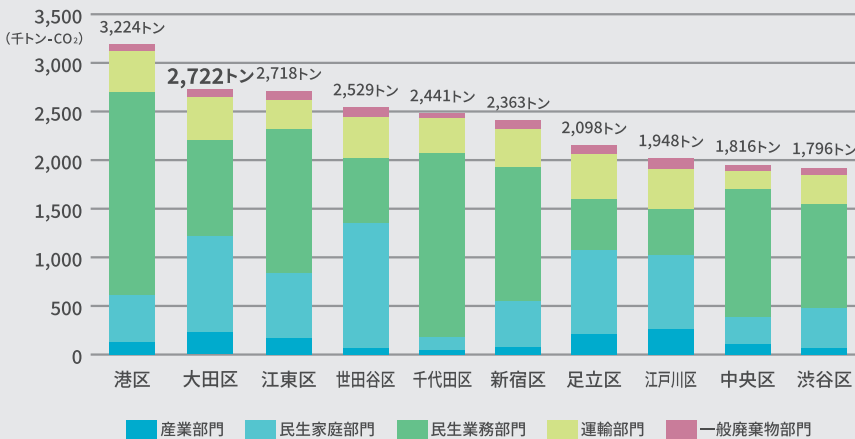
大田区の製造業の事業所数は東京23区で最も多い一方、最盛期の半分以下に減少

※「大田区ものづくり産業等実態調査」(2020年3月)及び総務省「令和3年経済センサス-活動調査」を基に作成

2. 脱炭素・循環型社会の構築

●CO₂排出量の23区比較

[2021年]

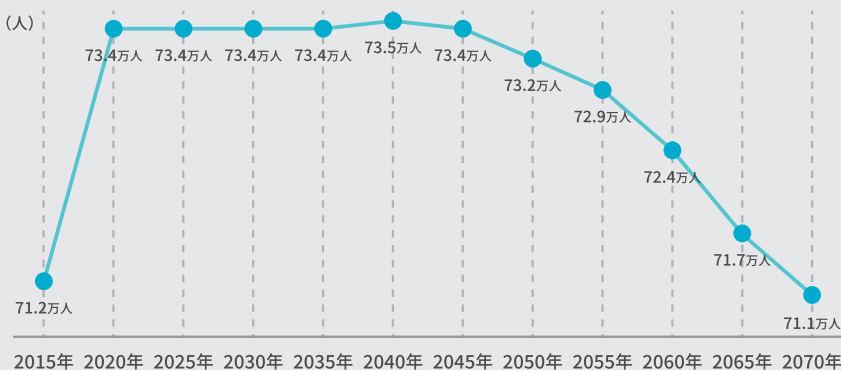


大田区はCO₂排出量が東京23区で2番目に多い(2021年時点)

※「オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」2021年度温室効果ガス排出量(推計)算定結果」を基に作成

3. 子育て環境の整備と人材育成

●総人口の推移(大田区)



2040年代半ば以降人口減少の予測

※「大田区人口推計(2024年4月)」を基に作成

どんなまちを目指していく？

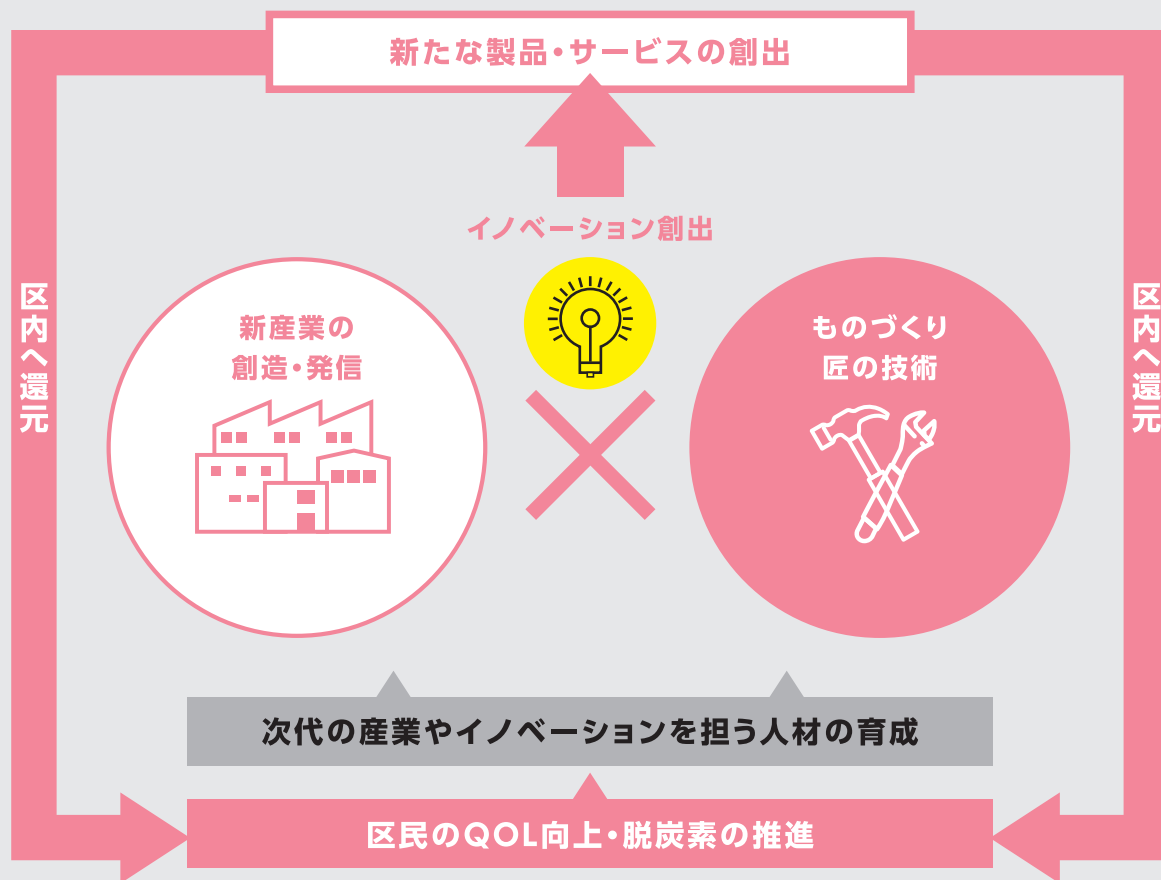
2030年のあるべき姿

羽田から未来へはばたく おおた SDGs 未来都市の実現➔

～新産業と匠の技が融合するイノベーションモデル都市～

1. 区内産業の「稼ぐ力」が向上し、持続可能な成長を続けるまち
2. 環境と産業が調和した持続可能なまち
3. イノベーションの担い手が将来にわたって持続的に生み出されるまち

イノベーションの流れに海外・国内各地の企業を巻き込む



大田区のSDGsの取組は
こちらから見られるぴょん！

未来をどうやって実現する？

おおたの未来創造プロジェクト

～羽田からつくる・つなぐ・はばたく～

つくる

HANEDA GLOBAL WINGS

空港跡地エリア内での「新産業創造・発信拠点」の形成や、憩いや賑わいの創出を図る取組です。

羽田空港跡地第1ゾーン整備事業

羽田イノベーションシティ



都市計画公園



羽田空港跡地第2ゾーン整備事業

羽田エアポートガーデン



ソラムナード羽田緑地



河川空間オープン化

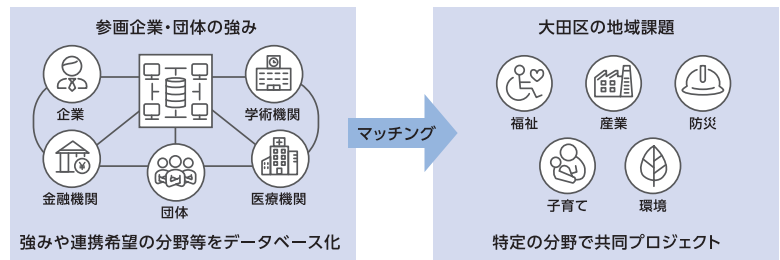
「かわまちづくり計画」エリア



つなぐ

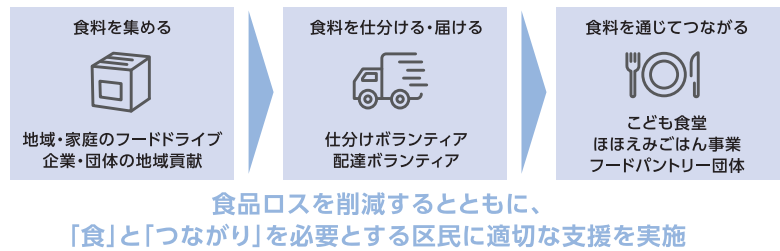
大田区公民連携SDGsプラットフォーム

区と民間、民間同士をマッチングして、地域課題の解決を図る取組です。



おおたフード支援ネットワーク

区民や自治会・町会、企業などによるフードドライブ活動の推進や、こども食堂等の区民活動、食を通じた企業の地域貢献活動等をサポートし、そのネットワークを広げる取組です。

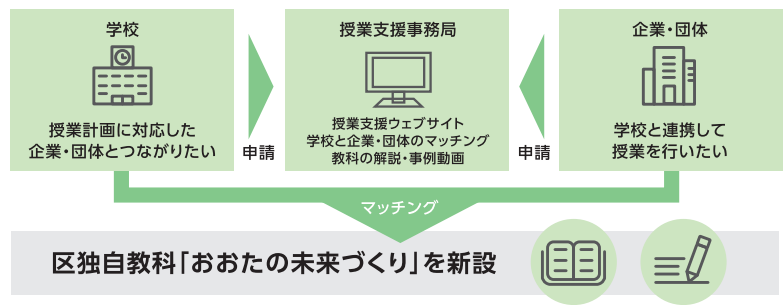


はばたく

大田区独自教科「おおたの未来づくり」

区立小学校が対象の独自教科です。「STEAM教育」を推進し、こどもたちの創造的な資質・能力を育むことで、未来を担う人材を育成します。地域の企業・学校・団体等と連携し、「地域力」を最大限に活かしたプラットフォームを構築しています。

地域力を最大限に活かすプラットフォームを構築し、授業づくりをサポート



持続可能なまちづくりのために私たちができることは？

家庭内でできること

『災害に備えよう』

SDGsでは、災害に強いまちづくりを目標にしています。
いざというときに備え、日ごろから準備しましょう。



災害が起きる前にできること

- ・家具の転倒防止対策
- ・家族同士の安否確認方法を決めておく
- ・食料・飲料の備蓄
- ・避難場所や避難経路の確認
- ・非常用持ち出しバッグの準備
- 「大田区防災ハザードマップ」の活用



大田区
防災ハザードマップは
こちらから



『フードロス削減しよう』

SDGsでは、2030年までに1人当たりの食料の廃棄を
半減させることを目標にしています。食材を「使い切る」
「食べきる」ことを心がけましょう。



フードロス削減のために家庭でできること

- ・買物前に冷蔵庫の食材を確認する
- ・食べきれない量を作る
- ・適切に保存する
- ・食材を上手に使い切る



学校や勤務先でできること

『マイボトル・マイバッグを持ち歩こう』

マイボトル・マイバッグを持ち歩くことで、プラスチックごみが減少し、
CO₂が削減できます。毎日の通学・通勤で意識してみましょう。



『ペーパーレス化に取り組もう』

ペーパーレス化で紙の使用量を削減できれば、廃棄された
紙の焼却の際に出るCO₂や、紙の原料となる森林の伐採を
減らすことができます。さらに、ペーパーレス化は、生産性
向上や働き方改革にもつながります。



ペーパーレス化につながる取組

- ・紙資料の電子化
- ・電子契約の導入
- ・紙の消費量削減
- ・Web会議の推進



外出先でできること

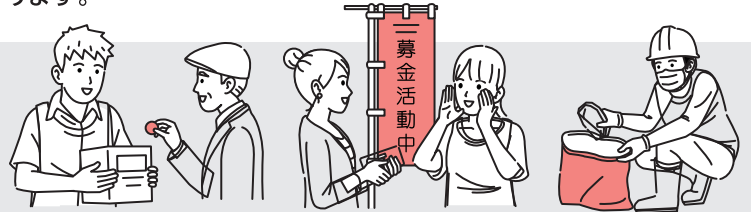
『地域活動やボランティアに参加しよう』

SDGsの達成には、国や自治体、企業の取組だけではなく、ボランティアなど個人の活動が必要不可欠です。また、地域活動に参加し、地域住民と交流を深めることは、住みやすいまちづくりにつながります。



地域活動・ボランティアの例

- ・自治会・町会への参加
- ・子ども食堂の運営
- ・食料品の寄付
- ・災害ボランティア活動



『環境にやさしい製品を選ぼう』

環境にやさしい製品を選ぶ際の目安となるのが「認証マーク」です。製品を選択する際には、参考にしましょう。



認証マークの例

●エコマーク



ライフサイクル全体で環境負荷が少ないと認められた製品・サービスの目印

●FSC認証



森林の生物多様性を守り、地域社会や先住民、労働者の権利を守りながら適切に生産された製品の証

●MSC認証

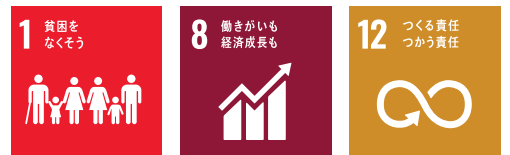


水産資源や環境に配慮し、適切に管理された持続可能な漁業に関する認証

『フェアトレード商品を購入しよう』

フェアトレード商品を購入することは、開発途上国の生産者をサポートすることにつながります。

普段のお買物でフェアトレード商品の購入を心掛けましょう。



フェアトレードとは

開発途上国でつくられたものを適正な価格で売買することで、開発途上国に不利な取引をなくそうという取組のことです。

●国際フェアトレード認証ラベル



『公共交通機関を利用しよう』

マイカー通勤は控えて、公共交通機関や自転車・徒歩での通勤を心掛けてみませんか？ CO₂削減はもちろん、運動不足の解消により健康増進にもつながります。





大田区は「SDGs 未来都市」 持続可能なまちづくりを進めています

令和6年(2024年)10月

発行 大田区企画経営部

〒144-8621 東京都大田区蒲田5丁目13番14号

電話:03-5744-1538(直通)

※再生紙を使用しています